

道

2022・5・11

通信 No 1682



フジ

《本日の練習》 小坂先生 二宮先生 6時～8時30分

・シチエドリク ・バンドウーラを手にすれば(キエフの鳥の歌 森はざわめく)

《次回5月18日》 吉野町市民プラザホール 清水先生 小坂先生

・群青 ・森へ行きましょう(大地讃頌 アメージング・グレースも持参)

！ポーレの池澤さん制作の「ウクライナ支援のDVD」希望者の皆さんに届きましたか。池澤さんは制作費も送料も全て自己負担されています。「これが僕のできるウクライナ支援です」とおっしゃっていました。！後3セット残っています。ご希望の方は朝倉久まで申し出て下さい。

思い出の電車図書館

菅野明子

コロナ前の私の楽しみの一つが「電車図書館」だった。

「電車の中で本を読む」は誰でも経験したことと思うが、私の場合は「本を読むために電車に乗る」。だから自分で勝手に「電車図書館」と名付けた。そして大事なことが「運賃支払いは一駅間だけ！」なのである。

昔は暑い夏の午後避暑がてらに良く出かけた。その頃は一駅間の乗車は時間制限がなかったので、かなり遠くまで足を延ばせたが、今は「2時間」と制限されてしまったので、近場しか回れなくなってしまったのは本当に残念としか言えない。

2019年の師走のある日の記憶をたどってみよう～

さあ出発！時刻は13:30を指している。今日読むのは葉室麟の「冬姫」。織田信長の娘の物語、357頁のどこまで読めるだろうか。

自宅から磯子駅までは歩き。八幡橋を渡り遊歩道の黄葉をスマホに収める。磯子駅14:10着、14:19発の大船行きに乗った。日曜日の午後の割に乗客が多い。空いていた優先席の一番奥に座り本を開いた。電車の振動に身を任せて読み始めると一気に物語の世界に入る。あっという間に大船に着いた。今の時刻は14:35、東京方面の時刻表を確認して、横須賀線のホームに下りると同時に千葉行きの電車がホームに入ってきた。大船14:37発、車内は立っている乗客がちらほらいる。それでも運よく指定席(?)の優先席に収まり読書再開、すぐ本に吸い込まれた。鉄橋の音にふと気づくと電車は鶴見川を渡っていた。新川崎を過ぎて武蔵小杉で下車15:06だった。このホームから南武線の乗り換えは時間がかかる。後方車両なので尚更だ。地下に下りて通路を延々と歩く。やっと南武線のホームに到着すると同時に川崎行きが発車して行った。ホームから上を眺めると空はほんの一部で、右上に東横線、正面にはタワーマンションが聳えている。川崎行きが来た。15:21発、この車内も混んでいる。かろうじて空いていた席に座り本を開く。15:34川崎着。人にもまれて京浜東北線のホームに移動する。大船行き15:40発の案内標識、これで制限時間内には根岸駅に着けるとほっとした。こんなことを心配しながら何で乗るのかと自分でおかしくなった。

大船行きの電車も混んでいる。それでも何とか空席に収まりどっぷりと読書にはまる。根岸駅着16:06改札でスイカをタッチする時ちょっとドキドキした。幸い拒否はされなかった。約2時間の小旅行で本は115頁読めた。

3回目のワクチン接種が終わり、4回目も始まるらしい。暮らしはコロナ前に少しずつ戻っているこの頃、そろそろ「電車図書館」も再開できたら良いなと時刻表を検索して楽しんでいる。

《企画選曲委員会》 5月18日(水) 3時00分～5時00分 県民サポートセンター708号

《バス懇談会》 6月1日(水) 3時30分～4時50分 県民サポートセンター705号